六ツ川西保育園　　令和4年度　保育の内容に関する全体的な計画

令和4年4月1日現在

保育の理念	**すべては子どもたちとその未来のために** ・一人ひとりの人権を尊重し、子どもにとってしあわせで、その子らしく生きる力につながる保育 ・子どもを中心に保護者、保育者、地域が支えあい育ちあう保育 ・倫理と資質向上を目指し、明日への希望をつなぎ合える職場集団づくり
保育方針	子ども一人ひとりの発達にふさわしい環境づくりと個性を発揮できる保育を創る ・自然や文化に触れ、実体験を大切にする生活や活動をたくさん創る ・自分の意志で考え判断し、自己主張でき、仲間と協調できる子どもを育てる ・愛し愛されることを十分に実感し、人を大切にする心を育てる ・子ども一人ひとりの発達段階に応じた育ちを大切にする ・地域とともに子どもたちの成長を喜び合える保育活動をつくる
園の保育目標	1. 元気に遊ぶ子ども 2. 自分も友達も大切に出来る子ども 3. 素直に気持ちを表現し、自発的、意欲的に活動できる子ども 4. 楽しい園生活をおくり楽しく食べる子ども

子どもの保育目標（保育目標・保育の内容ともに年間指導計画の基礎事項・年間指導計画・行事のねらいは別紙）

年齢	目標
乳児	保育者との信頼関係のもと生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ
1歳児	行動範囲を広げ探索活動（歩行の完成、健康なからだ作り）を盛んにする
2歳児	象徴機能（ごっこ遊びや見立て遊びなど）や想像力を広げながら集団活動に参加する
3歳児	身近な仲間や自然等の環境と積極的に関わり、意欲を持って活動する
4歳児	自分の意見を主張したり、相手の意見を受け入れたりしながら友だちとのつながりを広げ、集団で活動する
5歳児	集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ね、やりとげた充実感、達成感を味わう

保育時間など	2・3号認定／基本保育時間　標準認定7:30～18:30　短時間認定8:30～16:30 延長保育時間(土曜の開園時間は18:30まで)　標準認定18:30～20:00　短時間認定　7:00～8:30　16:30～20:00
主な行事	入園を祝う会／移動動物園／お茶会(5歳)／プール開き／夜まで遊ぼう(5歳)／運動会／園外保育／芋パーティー／お楽しみ会／豆まき会／卒園遠足／卒園式／進級式 ※誕生会・避難訓練・保育参加・健康診断・歯科検診・個人面談・クラス懇談会　子育て広場
教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱	・「知識及び技能の基礎」 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする ・「思考力、判断力、表現力等の基礎」 気付いたり、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする ・「学びに向かう力、人間性等」 心情、意欲、態度等が育つ中で、よりよい生活を営もうとする
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目	ア　健康な心と体 イ　自立心 ウ　協働性 エ　道徳性・規範意識の芽生え オ　社会生活の関わり カ　思考力の芽生え キ　自然との関わり・生命尊重 ク　数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ　言葉による伝え合い コ　豊かな感性と表現
◎小学校との連携（接続）	・小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。 ・育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教師との意見交換、研究の機会などを設け、保育所保育と小学校教育との円滑な接続に努める。 ・小学校訪問・児童との交流・幼保小連携会議への参加 ・保育所児童要録の送付・園だより、学校だよりの送付交換

■養　護（保育士が行う事項）

年齢	乳児	1歳児（満1歳より）	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
生命の保持	●生理的欲求の充実を図る	●生活リズムの形成を促す	●適度な運動と休息の充足	●健康的生活習慣の形成	●運動と休息のバランスと調和を図る	●健康・安全への意識の向上
情緒の安定	●応答的な触れ合い ●情緒的な絆の形成	●温かなやり取りによる心の安定	●自我の育ちへの受容と共感	●主体性の育成	●自己肯定感の確立と他者の受容	●心身の調和と安定により自信を持つ

◎ねらい及び内容並びに配慮事項（養護と教育は一体となって展開されることに留意）

◎教　育（園児が環境に関わって経験する事項）

※乳児は3つの視点　幼児は5つの領域で区分されている。（基本的事項を十分に参照）

※子どもの発達や成長の援助をねらいとした活動の時間については、意識的に保育の計画等に位置付けて、実施する。なお、活動の時間については、保護者の就労状況等に応じて子どもが保育所で過ごす時間がそれぞれ異なることに留意して設定する。

（乳児）3つの視点	乳児
健やかに伸び伸びと育つ	●身体機能の発達 ●食事睡眠等の生活のリズム感覚の芽生え 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力の基盤を培う ① 身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。 ② 伸び伸びと体を動かし、はう、歩くなどの運動をしようとする。 ③ 食事、睡眠等の生活のリズムの感覚が芽生える。
身近な人と気持ちが通じ合う	受容的・応答的な関わりの下で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基盤を培う ① 安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 ② 体の動きや表情、発声等により、保育士等と気持ちを通わせようとする。 ③ 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。
身近なものと関わり感性が育つ	身近な環境に興味や好奇心をもって関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基盤を培う ① 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。 ② 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。 ③ 身体の諸感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する。

5領域	1歳児（満1歳より）	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
健康	●歩行の確立による行動範囲の拡大 明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。 自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。 *保育者と一緒に手を洗う・口ゆすぎをする	●排泄の確立 便器での排泄に慣れ、自分で排泄ができるようになる ●運動、指先の機能の発達 健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとする気持ちが育つ。 ＊手洗い・うがい・口ゆすぎをする ＊保健指導を通して健康、体への関心、興味を持つ	●意欲的な活動 ●基本的生活習慣の確立 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。 ① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ＊手洗いうがいの習慣化	●健康への関心 ●体全体の協応運動 ② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする ③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する	●健康増進とさらなる挑戦への意欲 ③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。
人間関係	●周囲の人への興味、関心の広がり 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。 ① 保育所での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。	●自己主張の表出 ●友達との関わりの増大 ② 周囲の子ども等への興味や関心が高まり、関わりをもとうとする。 ③ 保育所の生活の仕方に慣れ、きまりの大切さに気付く。	●道徳性の芽生えと並行遊びの充実 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。 ① 保育所の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 *自分のことは自分で行う	●仲間との深いつながり ② 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。 ＊二人組・お手伝い→当番活動　人のこと	●社会性の確立と自立心の育成 ③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。 ＊みんなで一つの事に向かう・自分の考えや意見を出す・人の話しを聞く・話し合い ・役割を持って行動する（当番活動・係）
環境	●好奇心を高める 周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。 ① 身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ。	●自然事象への積極的な関わり ② 様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 ③ 見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。	●身近な環境への積極的な関わり 周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。 ① 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。 ＊リュック・水筒 粘土・クレヨン・自由画帳（自分の物の管理）	●社会事象への関心の高まり ② 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ＊道具箱（はさみ・のり） ・縄跳び（段階を踏んで）	●社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ ③ 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などにする感覚を豊かにする。 ＊習字・みんなのものを大事に扱う（楽器） ＊道具箱（色鉛筆）
言葉	●言葉の獲得●話しはじめ 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする。 意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。 ① 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる ② 人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。	●言葉のやり取りの楽しさ ③ 絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。	●言葉の美しさ、楽しさへの気付き ●生活の中での必要な言葉の理解と使用 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。 ① 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。	●伝える力、聞く力の獲得 ② 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。	●文字や数字の獲得による遊びの発展 ③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。
表現	●いろいろな素材を楽しむ 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。 ① 身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。	●象徴機能の発達とイメージの膨らみ ② 感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。 ③ 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。	●自由な表現と豊かな感性の育ち 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。 ① いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。	●豊かな感性による表現 ② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・絵本や物語に親しみイメージを膨らませて自分なりに表現する。	●ダイナミックな表現 ③ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 ●感動の共有

	乳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
食育	・食べることの土台となる体を充分に動かし、空腹を感じる ・安定した環境の中で一人ひとりの発達に合わせた離乳食を進める ・咀嚼力をつける	・食べることに興味を持ち楽しく意欲的に食べようとする ＊手づかみやスプーンやフォークを使って食べようとする	・友だちや保育士と一緒に楽しんで食べる ・いろいろな食べ物に関心を持つ ・野菜の栽培、調理活動を通して食べることに関心を持つ ＊スプーンやフォークの使い方が分かり、食器に手を添える、座り方を身につける	・友だちと一緒に食べる楽しさを知る ・いろいろな種類の食べ物を食べてみようとする ・箸の持ちを知る	・友だちと一緒に食べることを楽しむ ・食生活に必要なマナーを身につける ＊味噌づくり（冬）	・食を通して、命の大切さを知る ・作る、食べる、片付けるの一連の体験を通して食事を楽しむ ・食材に関する知識や役割を知る（食育ボード） ＊包丁を使う・調理に参加し、物の扱いや工程を知る

★健康支援／状態把握・増進・疾病対応	★食育の推進（食育計画別紙）	★環境及び衛生管理並びに安全管理（危機管理計画別紙）	★災害への備え（避難計画等別紙）	◆地域・子育て支援（子育て支援計画別紙）	△職員の資質向上（研修計画別紙）	保育計画	長時間にわたる保育	自己評価等
●健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握 ●年2回の嘱託医による健康診断（内科・歯科） ●尿検査・視聴覚検査 ●登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応 ●年間保健指導計画（別紙参照） 毎月保健だより発行 ●年1回職員健康診断及び毎月の検便	5領域との相関性を構築する ●栄養バランスを考えた自園給食の提供 ●食育活動の実施 （もとの形を知る・魚の解体など） ●全園児へ炊き立て米飯の提供 ●行事食の提供 ●菜園作りの実施 ●クッキング活動の実施（2歳児～5歳児） ●保育参加時、懇談会での給食試食会の実施	●施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ●子ども及び職員の清潔保持 ●感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有 ●インフルエンザ・その他感染症対応 ●警察署指導交通安全教室	●避難訓練（火災、地震）の実施（毎月） 不審者対応訓練(職員) ●消火訓練の実施 ●引き渡し（引き取り）訓練 ●被災時における対応と備蓄 ※年2回外部業者による消防設備点検	・教育及び児童福祉としての保育並びに子育て支援の有機的な連携が図られ、子どもの成長に気付き、子育ての喜びが感じられるよう子育て支援に努める。 ●一時保育 ●園の行事への参加（みんなであそぼう・移動動物園・運動会・人形劇・コンサート） ●子育てひろば	・質の高い保育を展開するため、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努める。保育所職員に求められる専門性を理解し、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。 ●職場研修、外部研修など体系的な研修計画を作成し、結果を活用する ●法人研修の継続・園外・園内研修の継続、計画的な参加・講師を招いての園内研修	・全体的な計画 ・年間指導計画 ・月の指導計画 ・週案 ・個別指導計画・個別配慮指導計画 ・食育計画・保健指導計画	●子どもの発達過程、生活リズムおよび心身の状態に十分配慮する ●子どもがゆったりと落ち着いて過ごせる環境、また異年齢での交流、時間の場を楽しい時間になる保育内容、職員体制づくりに努める ●子ども、保護者が安心できるよう家庭との連携を図る	●法人施設による適切な施設運営管理の評価 ●保育所の評価（全体の反省による全体計画等の反映） ●保育士等の評価（自己評価と子どもの評価の確立） ●自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成、習得

情報公開等	・人権尊重　・虐待確認保護　・個人情報保護　・苦情処理解決対応及び第三者委員、運営協議会設置　・看護師、栄養士等の専門者の配置　・ホームページの開設　・給食試食会